

日本天文学会評議員会 議事録

日 時：1999年1月23日（土） 13時00分～16時00分

場 所：国立天文台 三鷹 講義室

出席者：家、今井、尾崎、古在、小杉、佐藤、杉本、
祖父江、谷口、長谷川、井上、上野、
奥田、加藤、小山、鈴木、須藤、福島、吉田 出席者20名 欠席者 10名
うち委任状7名。他に理事会から庶務理事 大石、柴田、
会計理事 立松、紀伊が出席

議事に先立ち、議長に小杉健郎氏を、署名人に加藤万里子氏、谷口義明氏を選出した。

議事の経過及び結果

1. 前回（1998年10月2日）の評議員会議事録が報告され、承認された。
2. 98年度新天体発見賞・天体発見功労賞、研究奨励賞、林忠四郎賞、欧文報告論文賞受賞者について、各選考委員会から推薦があり、質疑応答の後下記のように決定した。

新天体発見賞：高見沢今朝男氏

天体発見功労賞：該当者なし

研究奨励賞：大橋永芳氏、横山央明氏

林 忠四郎賞：小山勝二氏

欧文報告論文賞：大橋隆哉氏ら24名

The Gas Imaging Spectrometer on Board ASCA PASJ, vol.48, pp. 157--170 (1996)

なお、各賞選考委員会が複数の候補者を推薦する場合は、順位をつけて推薦することになった。また、天体発見賞の贈呈のありかたについては、「新天体」の定義、天文学への寄与などを考慮して新しい対処方針を天体発見賞選考委員会で議論することになった。

3. 1998年度事業報告について大石庶務理事より説明が行われ、質疑応答の後承認された。
4. 1998年度収支決算報告・監査報告について紀伊会計理事より説明が行われた。質疑応答ののち承認された。
5. PASJの出版・電子化について、有本欧文研究報告理事より説明があった。電子化をどう進めて行くかの原則を理事会でじっくり議論して欲しいとの要望が出されたが、現状報告については承認された。
6. その他

（1）教育委員会の委員構成の再編に関する99年1月の理事会の決定について報告され、質疑応答の後承認された。

（2）教材委員会委員として北本俊二氏（大阪大学）の氏名が新委員名簿から欠落していたことが半田教材委員会委員長より指摘され、訂正することとした。

議 長 小杉健郎
署名人 加藤万里子
署名人 谷口義明